

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	木材振興室長 大國 敏彦	電話番号	0852-22-5156
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	山の幸づくり振興対策事業		
目的	(1) 対象	特用林産物生産者	
	(2) 意図	質の高い特用林産物の安定供給と生産者の所得向上	
事業概要	特用林産振興対策として、生産者の所得確保や新規生産者の確保・育成、消費拡大を図るため、生産者に対する技術研修、消費者に対するPR活動を実施する。 安心きのこ産地づくりとして、安全性の高いきのこ生産を推進する		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	きのこ新品種栽培数 (KPI)	目標値	(0.0)	1.0	1.0	2.0	3.0	品種
		取組目標値							
	式・定義	県内で開発され栽培・販売が行われた新品種 (累計)	実績値	(0.0)					
			達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	きのこ生産量	目標値		2,700.0	2,950.0	3,250.0	3,500.0	トン
		取組目標値							
	式・定義	島根県のきのこ生産量 (生換算)	実績値	2,533.0					
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	745	45,000
うち一般財源 (千円)	745	45,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した (実施予定、一部実施含む)
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

生産量の減少は、生しいだけ需要が落ち込む夏場において、他品目を生産するなどの生産調整が影響している。価格が低迷しているとともに燃油等の生産資材が高騰し、生産意欲の低下が懸念される。

	H21	H25	H27
きのこ生産量	3,026	2,474	2,533トン

6. 成果があったこと (改善されたこと)

平成25年度に県内のきのこ生産関係15団体が生産技術の向上や販路に関する情報交換を目的とする「島根きのこ生産振興会」を設立した。
また、平成26年度当初から中山間地域研究センターに「きのこ特産品開発チーム」を設置し、市場性のある新商品開発等に向けた体制を整えた。
平成27年度には地域振興部の予算を活用して、新品種導入に向けた現地での実証を行い、島根きのこ生産振興会では、研修会を行った。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
栽培ハウス導入の初期投資が、栽培への参入の障害となっている。
菌床ブロックの生産施設の更新と規模拡大が必要な状況にある。
また、他県の産地に勝てる商品価値の高い品目がない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
全国的に収束しない原発事故の風評被害の影響による価格ダウンにより、生産意欲が著しく低下しており、設備更新への意欲が低下している。
新しい品目の開発には地道な取り組みが必要であり、時間を要する。
- ③原因を解消するための「課題」
現在の価格水準に対応できるきのこ生産の低コスト化。
市場性のある新商品開発のスピードアップ。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

きのこ栽培については、菌床施設の更新・規模拡大、栽培ハウスの増設など生産拡大を推進していく。
きのこ研究開発チームを中心に県行政、生産振興会が連携して、新しいきのこの商品化に取り組む。
今後とも地域雇用を創出する産業として発展させるには、市町村と連携した生産施設強化による低コスト化と中山間地域研究センターを中心とした市場性のある新商品開発が不可欠である。
このため、平成28年度 (予算は平成27年度補正) から「きのこの里づくり事業」により、課題解決に取り組む。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)